

福岡市環境教育・学習計画推進協議会 議事録【要旨】

■日時:令和3年8月30日(月)13:30~15:00 ※オンライン開催

■議事 (1)福岡市の環境教育・学習関連施策について

(2)成果指標の達成状況について(平成28年度~令和2年度)

「福岡市環境教育・学習計画(第三次)」で定めている9つの基本的方向に基づいて、令和2年度における福岡市の施策の実施状況等及び本計画の成果指標について報告を行い、今後の方向性について当該協議会委員からの意見を聴取。

<委員からの主な意見>

- パッカー車等に関する環境学習について、毎年児童へ学校での講座を開いていただき、実物を見学させていただくという経験は、とても役に立ち、勉強になっている。
- トレイについては、ほとんどがルールどおり回収できていると認識している。
- 喫煙所が減少したことにより、道端の花壇など喫煙所以外の所で煙草を吸う方が増えたため、喫煙所を少し増やした方が町としてもよいのではないかと感じている。
- 環境活動といっても、ごみやSDGsなど、取り組みやすいものだけでなく、身近な自然に気づいてもらえるような環境活動についてももしっかり発信していきたいと思う。
- 「ふくおかレンジャー」について、とても楽しそうな活動であるため、きっかけがあれば団体としても繋がっていきたいと思っている。
- 多様な環境教育プログラム・教材等を提供するという内容について、出前講座等で実際にどのような教材を使っているのか、可能であれば提供していただきたい。
- 家庭におけるエネルギーの使い方等基本的な情報について、民間と行政が連携していくことを、今度のエネルギー計画の中でも検討していただきたい。
- 家庭部門等は、エネルギー産業とのつながり抜きには議論できないような状況となっているため特に重要であると感じている。
- コロナ禍において、環境学習動画を制作していただいたことは、学校のICT環境整備の面からも、今まで以上に学習に活用することができていると考えている。
- 学校でも、環境学習動画について、周知していきたいと思う。
- 出前講座について、動画を活用するなど、小中学生でも分かるようなプログラムとなるとよいと思う。
- 出前講座の内容をパッケージ化し、学校現場に動画として送ることで、教師が子ども達と一緒に授業の中で考えられるようになるとういと思う。
- 作成した出前講座のパッケージをホームページにも掲載していただき、地域の皆様にも、動画を見ていただくことができれば、地域でできる環境活動にも取り組みやすくなるのではないかと思います。

- プラスチックごみの資源化について、国の方針としても動き始めているため、福岡市も出遅れることがないよう、引き続き検討を進めていただきたい。
- 各家庭や学校、団体のリサイクル意識がかなり高くなってきているため、ごみ処理量が少しずつ減少してきていると思う。一方、海や川等自然の中に落ちているごみは、ポイ捨てによるものが多いため、市民一人ひとりの環境保全への意識を広げていく取組みが必要である。
- 海にはビニール袋等の目に見えるプラスチックごみだけでなく、マイクロプラスチックのような小さなものもあるため、それを生きものが食べ、その生きものを人間が食べ、私たちの体に戻ってくるという仕組みも教えていく必要があり、そのようなことを意識できる取組みが必要であると思う。
- 省エネの効果等については、市民も何かしらの興味はあると思うので、電気代の節約につながることを伝える仕組みを加える等、市民の興味が実行に移るような周知広報により一層力を入れていかなければならないと思う。
- 誰かと一緒に活動をするのを環境活動への参加と位置付けるのではなく、例えば、環境美化活動にしてみても、個人宅の前の清掃活動も、その町内がきれいになると考えれば、それも町内の美化活動に参加していることになると思う。
- おうち時間等が増えたため、環境活動への参加が伸びていないという現状にあるのだと思う。
- ごみのリサイクルに関しても、テイクアウトが増えてきているため、ごみの量も増加しているという話はよく聞くので、町で増えてしまうごみの処理等に対し何かできる取組みがあればよいと思う。
- 二酸化炭素の削減目標が国から出ていると思うが、「家庭部門における一世帯当たりエネルギー消費量」「業務部門における延べ床面積 1 m²あたりエネルギー消費量」をどれだけ削減すると、どのくらい貢献できるのか、あるいは、何人の人が冷房の設定温度を 1℃上げると、どこまで達成できるといった具体的な数字がわかると、自分が何をしたらよいのか明確になると思う。
- 今後は、エネルギーを使用する上での二酸化炭素の削減量に加え、二酸化炭素を排出しないエネルギーに切り替えることで、全体の二酸化炭素の排出量がどれだけ下がるか、具体的にわかるような計画を市にも作っていただきたい。
- 市が作成しているごみ減量リサイクルマニュアルについて、PTA にも共有していただきたい。